

【1】大学の教育研究上の目的

(5) 大学院の教育研究上の目的

社会文化総合研究科

本大学院では、研究フィールドは、現代社会と人間と文化、および経済が複雑にからみあう幅広い現場があると捉えています。そのため、既存の学問の枠組みにとらわれず、専門諸分野の横断を図り、広い領域を有機的に連携させた研究を通じて、高い視点からの思考力や判断力を養います。

心理学コース（社会文化総合研究科 心理学専攻）

現代社会において人間の「心」の問題は多様化し、他者からの支援を必要とする状況も多くあります。心理学コースでは、保健・医療、教育、福祉、司法・犯罪、産業・労働など、さまざまな分野の心理学を深く学び、国家資格「公認心理師」に対応したカリキュラム編成のもと、心に関する支援方法やその実践力を身に付けた高度な専門職の養成を行います。

現代社会文化論コース（社会文化総合研究科 社会文化論専攻）

グローバル化と多様化、多文化が同時進行する現代の社会・文化をとりまく諸課題に対して、社会・人文・自然の各科学にまたがる学際的な視点で研究を進め、多角的で幅広い視野を身につけ、自律的な批判・検討・分析ができ、社会的諸課題に応えられる人材の育成をめざします。

発達・教育臨床論コース（社会文化総合研究科 社会文化論専攻）

人間の成長・発達は、こころとからだ、学びに密接に関わり、しかもこれらは相互に関連しあっています。現代的な生活環境の中で、成長・発達が促進されたり阻害されたりしており、特別なニーズの存在も見逃せません。このコースでは、よりよい発達支援や教授・学習のありようを求めて、臨床的で現実的な諸問題を研究し、高度な問題解決能力とセンスを身につけた専門的職業人、現場に強い実践者の養成をめざします。

現代経済・ビジネスコース（社会文化総合研究科 社会文化論専攻）

現代経済社会について、伝統的で新しい「経済学」の理論・歴史・政策体系を駆使することにより、幾多の経済問題の課題を科学的、学問的な手法で分析し解決が図られるよう専門的経済知識の備わった、実践できる職業人の育成をめざします。また、企業・経営ビジネス分野における組織の基礎・応用、経営マネジメント、グローバル金融、経営情報システムなど個別的・総合的にビジネスの本質と内容を網羅した高度な大学院レベルの教育を施し、即ビジネス力を保持した専門的・実践的な職業人の育成をめざします。